

- 問1 ヨーロッパ連合（EU）の統合によって、加盟国間の経済活動にはどのような変化が生じましたか。その仕組みと影響について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. 加盟国間での関税が撤廃されたことで、農産物や工業製品の貿易がより盛んになった。
 2. すべての加盟国が共通通貨ユーロを導入したことで、加盟国間の物価が完全に統一された。
 3. 域内の統合が進んだ結果、西ヨーロッパと東ヨーロッパの間の経済格差は完全に解消された。
 4. 国境の行き来が厳格に管理されるようになり、域内での無断な労働が禁止された。
- 問2 ヨーロッパの主要国であるドイツの農業統計において、小麦やじゃがいもの生産量が多く、米の生産がほとんど見られない理由と、その統計的な特徴の説明として正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. アジアから伝わった稲作技術により、温暖な南部を中心に米の生産量が小麦を上回るようになり、じゃがいもは飼料用としての生産に限られる。
 2. 熱帯の広大な農地でとうもろこしの大規模な機械化栽培が行われており、じゃがいもよりもとうもろこしの生産量が圧倒的に多い。
 3. 地中海性気候を利用したオリーブやぶどうの栽培に特化しており、穀物の中では小麦よりも米の輸入額が統計上の大半を占める。
 4. 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。
- 問3 デンマークやノルウェーなど、北欧諸国で盛んな「酪農」という農業形態について、その生産物の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 主に自給用として、トウモロコシやジャガイモなどの根菜類を家畜の飼料とともに生産している。
 2. 広大な牧場を移動しながら、羊やヤギの毛を採取して衣類の原料として出荷している。
 3. 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。
 4. 温室を利用して、冬の寒さを避けながらトマトやキュウリなどの夏野菜を生産している。
- 問4 ピレネー山脈を挟んでフランスと隣接しているスペインの、経済や産業における特徴的な説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。
 2. 主要作物である小麦の自給率が100パーセントを超えており、ヨーロッパ州を代表する穀物輸出拠点となっている。
 3. EUには加盟しているが、共通通貨の導入に反対し、フランスとの貿易制限を行っている。
 4. ユーロなどの共通通貨は使用せず、自国独自の通貨を維持することで、独自の農業政策を推進している。
- 問5 世界地図上でロシア連邦の北部一帯が示された場合、その地域に広がる、マツやモミなどの針葉樹を中心とした広大な森林地帯を何と呼ぶか。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. タイガ
 2. ステップ
 3. ツンドラ
 4. 混合林
- 問6 フランスのエネルギー政策に関して、2022年の統計では特定のエネルギー源が発電電力量の62パーセント以上を占め、火力や水力などの他の発電方法を大きく引き離しています。このフランスの電源構成の特徴と背景について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
1. エネルギー自給率の向上や温暖化対策を目的として、国策により原子力発電が非常に高い割合を占めている。
 2. 北海などで採掘される豊富な天然ガスを輸入し、環境負荷の低い火力発電を国内の主力としている。
 3. 広大な国土と偏西風を利用した大規模な風力発電を推進し、再生可能エネルギーのみで電力を自給している。
 4. アルプス山脈などの急峻な地形と豊富な水資源を利用し、水力発電が電力供給の大部分をまかっている。
- 問7 欧州連合（EU）は、約437万平方キロメートルという比較的限られた面積の中に5億人を超える人口を抱え、多額のGDPと膨大な貿易額を記録しています。このように、複数の国々が統合することによって高い経済水準や貿易額を実現できている背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）
1. 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから
 2. 域外のすべての国に対して一律に高い関税をかけ、外国製品の流入を完全に禁止しているから
 3. すべての加盟国が石油や石炭などのエネルギー資源を自給自足し、他地域への輸出を独占しているから
 4. 加盟国すべての公用語を一つに統一し、行政手続きや教育制度を完全に一本化したから
- 問8 世界地図においてヨーロッパ州を概観した際、フランスの北西側の大西洋上に位置し、複数の島々から成り立っている国の地理的特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ大陸から続く半島部分と、その周辺にある島々から構成されている。
 2. 北欧に位置するスカンジナビア半島の一部であり、内陸部には険しい山脈が連なっている。
 3. 地中海の中央部に位置する島国であり、アフリカ大陸に近い場所にある。
 4. グレートブリテン島と、アイルランド島の北部の地域などから構成されている。
- 問9 アルプス山脈に源を発し、ドイツやフランスなどの国境付近を通りながら北海へと注ぐライン川のように、複数の国をまたいで流れ、条約によってどの国の船でも自由に航行することが認められている河川を何と呼びますか。（2022年 奈良県公立入試 類似）
1. 外来河川
 2. 国際河川
 3. 運河
 4. 潮汐河川
- 問10 アルプス山脈を源流とする河川の多くは、下流部において流れが緩やかで水深が安定しているという特徴があります。この地形的条件が、ヨーロッパの産業発展にどのように貢献していますか。その背景と目的として最も適切な説明を選んでください。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 大型の船舶が内陸部まで航行できるため、工業地帯と港を結ぶ大量輸送の水運ルートとして利用されている。
 2. 河口付近に発達した広大な三角洲（デルタ）を利用して、世界最大の稲作地帯を形成し食料自給を支えている。
 3. 河川の水をせき止めて広大な人工湖を作り、乾燥する夏季の農業用水を確保するための貯水池として機能している。
 4. 急流を利用した大規模な水力発電を各地で行い、アルミニウム工業などの電力を大量に消費する産業を支えている。
- 問11 ヨーロッパ北西部で広く行われている、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を有機的に組み合わせて行う農業形態を何といいますか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 混合農業
 2. 移牧
 3. 酪農
 4. 地中海式農業
- 問12 EU（ヨーロッパ連合）の加盟国における経済状況について、ドイツやフランスなどの西ヨーロッパ諸国と、2004年以降に多く加盟した東ヨーロッパ諸国の統計を比較した際、顕著に見られる課題と現象の説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 経済格差を解消するため、全ての加盟国で物価と賃金が法律によって完全に同一に設定された。
 2. 東ヨーロッパ諸国の急速な経済発展により、西ヨーロッパ諸国の所得水準を大幅に追い抜いた。
 3. 西ヨーロッパから東ヨーロッパへ、安価な食料を求めて大量の労働者が移動している。
 4. 賃金の高い仕事を求めて、東ヨーロッパから西ヨーロッパへ労働者が移動している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 加盟国間での関税が撤廃されたことで、農産物や工業製品の貿易がより盛んになった。	EU（ヨーロッパ連合）では、域内を一つの大きな市場とみなすために、加盟国間で取引される商品にかかる関税を撤廃しています。これにより、農産物や工業製品の流通コストが下がり、貿易が活性化しました。なお、共通通貨ユーロの導入は一部の加盟国にとどまっているほか、加盟国間の経済格差は現在もEUが抱える大きな課題の一つです。
問2	答え 4 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。	ドイツは高緯度に位置し、全体的に冷涼な気候であるため、古くから寒さに強い小麦やじゃがいものが栽培されてきました。実際の統計においても、とうもろこしの生産量（約455万トン）に対してじゃがいもの生産量（約1172万トン）が2倍以上となっており、米の生産がゼロであることと併せて、ドイツの食文化や気候条件を強く反映した数値となっています。
問3	答え 3 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。	酪農は、乳牛を飼育して生乳を得るだけでなく、それらを加工してチーズやバターなどの乳製品を作ることを含みます。特に北欧諸国やデンマークでは、これらの乳製品が重要な輸出産業にもなっています。移動しながら家畜を飼うのは「遊牧」であり、野菜の温室栽培は「促成栽培」などに分類されるため、酪農の定義とは異なります。
問4	答え 1 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。	スペインは1986年に当時のEC（現在のEU）に加盟し、2002年から共通通貨ユーロを導入しています。これにより、隣国であるフランスをはじめとする他のEU加盟国との間で、為替変動のリスクなしに貿易や投資を円滑に行えるようになっています。なお、小麦の自給率が100パーセントを超えているという特徴はフランスに該当します。
問5	答え 1 タイガ	冷帯（亜寒帯）気候に属するロシア連邦北部やカナダなどに広がる針葉樹の純林を指す。ステップは乾燥帯に見られる丈の短い草原、ツンドラは寒帯に見られるコケ類などが生える原野、混合林は針葉樹と広葉樹が混在する森林のことである。
問6	答え 1 エネルギー自給率の向上や温暖化対策を目的として、国策により原子力発電が非常に高い割合を占めている。	フランスは1970年代の石油危機（オイルショック）を契機に、エネルギーの安定確保と自給率向上を目指して原子力発電所の建設を強力に推進してきました。2022年時点でも、全発電電力量の約6割以上を原子力発電が占めるという、世界の主要国の中でも突出した電源構成となっています。近年は再生可能エネルギーの導入も進められていますが、依然として原子力が同国の主要なエネルギー源であることは、地理・公民分野における重要な特徴です。
問7	答え 1 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから	EUは加盟国同士の経済的な壁を取り払うことを目的としています。国境での関税をなくし、共通通貨ユーロを導入（一部の国を除く）することなどで、域内の貿易を活性化させています。これにより、個別の国では達成できない規模の経済圏を構築し、世界の総貿易額の中で大きな割合を占めるに至っています。
問8	答え 4 グレートブリテン島と、アイルランド島の北部の地域などから構成されている。	イギリスは単一の島ではなく、大きなグレートブリテン島と、隣接するアイルランド島の北東部分、さらに周辺の小さな島々が集まって一つの国を作っています。フランスとはドーバー海峡を隔てて向かい合っており、大西洋側の海上交通の要所に位置しています。その他の選択肢にある半島部や地中海の島々は、ドイツやイタリアなどの異なる地域の地理的特徴を説明したものです。
問9	答え 2 国際河川	複数の国の領土を流れる河川のうち、条約に基づいてすべての国の船舶に開放されているものを国際河川といいます。ライン川はスイス、ドイツ、フランス、オランダなどを通過し、ヨーロッパの物流において重要な役割を果たしています。これに対し、乾燥地帯を貫流するナイル川などは外来河川と呼ばれます。
問10	答え 1 大型の船舶が内陸部まで航行できるため、工業地帯と港を結ぶ大量輸送の水運ルートとして利用されている。	ヨーロッパの国際河川は、日本の河川に比べて傾斜が緩やかで流量が安定しています。このため、大型の船やほしけ（船の一種）が内陸深くまで入ることができ、ドイツのルール工業地帯などの生産拠点と、オランダのロッテルダムのような巨大な貿易港を安価に結ぶことができます。この効率的な水運ネットワークが、ヨーロッパの重工業や貿易を支える基盤となりました。
問11	答え 1 混合農業	ヨーロッパ北西部の比較的冷涼な気候に適した農業形態です。主食となる小麦やライ麦、あるいは家畜の飼料となる作物の栽培を行いながら、同時に豚や牛といった家畜を飼育することで、経営の安定を図っています。
問12	答え 4 賃金の高い仕事を求めて、東ヨーロッパから西ヨーロッパへ労働者が移動している。	1990年代の冷戦終結後、2000年代に入ると旧社会主義圏であった東ヨーロッパ諸国が相次いでEUに加盟しました。しかし、歴史的に早くから工業化が進んだ西ヨーロッパ諸国と比べると所得水準に大きな開き（格差）があります。EU域内では人の移動が自由であるため、より高い賃金や良い労働条件を求めて、東ヨーロッパから西ヨーロッパへ人々が移り住む労働力移動が活発に行われています。